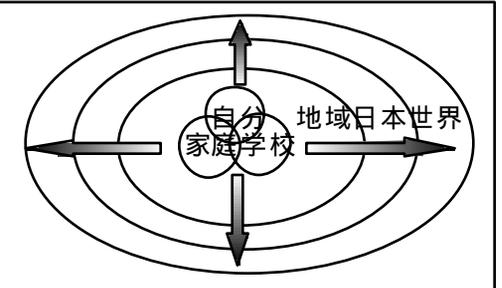


主 題 名 “お互いのよさを発見しよう！” 2 - (5) 自他の尊重

授業づくりのポイント

価値把握の段階で自分が他者と認め合う関係をつくるうえで自分の弱さを見つめるための自らへの問いを持たせる発問と、価値追求の段階で自他のよさに気付くための発問は効果的であったか。

- 1 ねらい
自他のよさに気付こうとしていない日常を振り返り、じっくりと自他のよさを見つめ直すことで、人と人とのかかわりの中で自他のよさを認め合うようになる。
- 2 準備
教師……地域の農家の人々が栽培した箱詰めじゃがいも、5ポイントカード、学習プリント、学習プリントフォルダー
相田みつをの詩「みんなほんもの」(『親子で見る心の詩』相田みつを美術館pp.32~33所収)の拡大コピー
相田みつをの詩「うつくしいものを」(『親子で見る心の詩』相田みつを美術館 p.6 所収)の拡大コピー
- 3 展開

学 習 活 動	子 ども の 反 応	教 師 の 支 援 及 び 留 意 点	時 間
<p>ガイダンス 10月～12月までの「道徳“国際理解”シリーズ学習」(全5時間)の課題を把握する。</p> <p>国際理解を進めていくための身近な人とのかかわりにおける課題に気づき本時の学習課題について自ら問いをもつ。</p>	<p>「道徳“国際理解”シリーズ学習」を見通し、自らの課題をつかむ。</p> <p>これからの時代は世界中の人たちと共にかかわり合って生きていくことが大変重要になります。そのためには、違いをお互いのよさとして認められる「国際理解」の力を付けなければなりません。そこで、今日からまず身近な人とのかかわりからよさを認め合い、その心を徐々に地域、国、世界へと広げていき、それぞれのよさを尊重する心の学習を行っていきます。</p> <p>「道徳“国際理解”シリーズ学習」の5ポイントは、以下のことであると気付く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>主体的なかかわりが基盤となる かかわりが自分と身近な人とのかかわりから次第に広がっていく 違いを認め合う よさを認め合う 目的は個々の幸福実現と共に生き 世界平和を創造する</p> </div> <p>「道徳“国際理解”シリーズ学習」の第一時として「お互いのよさを発見しよう！」の主題をもとに、なぜ本時の学習をしていくのかという課題意識をもつ。</p> <p>図で示したように「国際理解」を進めていくためには、まず身近な家庭や学校の中での「人と人とのかかわり」「人間関係」をよりよくしていくことがスタートです。しかし、実際には誰もがこのことを大切であると思うのですが、自分や友達によさがあることになかなか気付かないものです。なぜ、気付いてお互いを認め合ったり、広い心で受け止めることができないのでしょうか？そこで、この時間はこのことについて考えていきたいと思えます。</p>	<p>「道徳“国際理解”シリーズ学習」についての「ガイダンス」を行う。</p> <p>ガイダンスを進める際に「国際理解」は主体的なかかわりの中で違いもよさも認め合っていくことが大切であることを下記の図を板書し、5ポイントカードを示しながら話す。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	5分
<p>導入 アクティビティー「じゃがいもを知ろう！」を通してじっくりと他者にかかわり活動を行い、気付いたこと、感じたことを話合う。</p>	<p>今日は、この教室に「じゃがいも」を持ってきました。じゃがいものことをじっくり見たり、触ったことはありますか。地元の農家の人が心を込めて作ったものです。一人一個ずつ手にとって、そのじゃがいもについて気付いたことを5つ以上、学習プリントに書き出してみよう。さらに、じっくりかかわってみて感じたじゃがいもに対する思いも書いてみよう。</p> <p>じゃがいもを手にとってじっくりかかわりじゃがいもの特徴やかかわってみた思いを伝え合う。</p> <p>【外観】 * ごつごつしている。 * 丸みがある。 * へそがある。</p> <p>【手触り】 * 意外と重みがある。 * すべすべしている。 * 触ってみると心地よい。</p> <p>【思い】 * 暖かみがある。 * 親しみを感じる。 * 地域のおいを感じる。 * かわいらしい。</p>	<p>外観の印象だけでなく、じっくりと見たり、触ったりしているいろいろなことに気付くようにする。また、心に感じたことも表現するようにする。</p> <p>【教師の願い】《じゃがいものようなものは、とかく当たり前のように思われてしまい見過ごされてしまうが、じっくりかかわることによっていろいろな発見があることが分かる。このかかわりの体験は、人と人とのかかわりにも反映され、よさの発見につながるであろう。》</p>	8分
<p>展開 第1時(本時)の学習の課題を把握する。</p>	<p>本時の課題について自らへの問いをもつ。</p> <p>「じゃがいもを知ろう！」でやったように普段あまり他者理解をしていないね。では、友達によさに気づき互いに認め合う関係をつくるにはどうしたらよいでしょうか。自分を見つめ、そのために自分の弱いところを3つ、学習プリントに書きましよう。</p>	<p>自分への問いがもてるよう発問をする。</p>	7分

<p>友達とのかかわりで自分の弱いところを發表し合い、共有化する。</p>	<p>書き出した事項を發表し合い、それぞれが考えたことについて共有する。 * かかわりがうまくできない。 * 相手との交流がよくできない。 * 自分中心になつてしまう。 * 欠点に目が向いてしまう。 * 友達のよいところに気付いていない。 * 相手の外見(表面)ばかり見てしまう。 * つい人と自分を比べてしまう。 * 自分の欠点はよくわかるがよさが見つからないので自信がもてない。</p>	<p>發表された事項を視覚的に理解できるようにイメージマップ形式で板書する。 【教師の願い】《じゃがいもを知る活動で分かったように、他者理解の対象が事物であってもいろいろな見方ができる。ましてや対象が人間であれば心があるのでよさを発見し、互いに認め合うことは難しい。そこで、人と人のかかわりを振り返り、自己の弱さを考え、自らに問いをもたせたい。》</p>	
<p>アクティビティーでじっくりかかわれば気付かなかったことも分かったという活動を踏まえて、相田みつをの詩「みんなほんもの」を読み合う。全てのものによさがあることに気づき、感じたことを話合う。 【資料1参照】</p>	<p>「みんなほんもの」の詩を声に出して読んでみよう。読んで感じたことを「3つ」、学習プリントに書き出してみよう。</p> <p>相田みつをの詩から全てのものによさがあることに気づき、感じたことを話合う。 * トマトはメロンにかなわない。 * トマトはトマトでしかない。 * トマトはトマトのままがいい。 * 無理にかっこうづけなくていい。 * 背伸びをせずに生きるのがいい。 * それぞれによさがある。</p>	<p>相田みつをのことを知っているか尋ね、学校の廊下の壁に詩「道」の額が飾られていることを思い起こすようにする。 「みんなほんもの」の拡大コピーを掲示し最初に一度範読する。 (詩の題名、文中にあわせて3回出てくる「ほんもの」という言葉は伏せ字にしておく。)</p>	7分
<p>伏せ字の部分(ほんもの)について自分でかかわしいと思う言葉を考える。</p>	<p>この詩の「3か所の空欄」には同じ言葉が入ります。自分で当てはまるなあとと思う言葉を考えて、「ひらがな4文字」で、「赤ペン・赤鉛筆」を使って書いてみよう。</p> <p>詩の中の伏せ字について自分でふさわしいと思う言葉を空欄に書き入れ、發表する。 * 「いいもの」 * 「よいもの」 * 「いいやつ」 * 「ともだち」 * 「ほんもの」 * 「だいすき」 * 「たいせつ」 * 「しあわせ」</p>	<p>この詩の原文の言葉でなくてもよいこと、自分の思いを込めた言葉を書き込むようにする。</p>	3分
<p>「みんなほんもの」の詩の「にせものになりたがる」の部分に注目し、「どうすればほんものの付き合いができるのか」を小グループ(3~4人の班)になって話合う。 【グループ学習】</p>	<p>相田みつをは、この詩の中で「(人は)骨を折ってにせものになりたがる」と言っています。では、「にせものの生き方」とは、どんな生き方のことでしょうか? また、「ほんものの生き方」とは、どんな生き方でしょうか? まず、自分で「3つずつ」書き出してください。次にグループで話合っ、グループとして「それぞれ1つずつの答え」をまとめてください。その後各グループから順に發表してもらいます。</p> <p>価値を主体的に自覚する。 * 自分がよく思われたいための表面的な付き合いをしたり、気取ったりしないで、仲間なのだから本音で付き合う。 * 相手に良くなってもらいたいことははっきりと言い、自分も言われたら素直に受け止める付き合いをする。 * それぞれのよさを認め、良いことはきちんと讃え合っ、付き合っていく。 * 自分と相手を比較した生き方ではなく、違いを認め、相手から学んだり、互いに助け合っ、生きていく。 * お互いが認められ、ともに支え合っ、いけるクラスにしていくような付き合いをする。</p>	<p>3~4人のグループにして、司会と記録(發表)の担当を指示し、本時の中心課題について話合うようにする。グループの総意で1つの意見に集約し發表する。(個別学習と話し合い8分)</p> <p>各グループからの發表カードを黒板に掲示し、交流を通し主体的に価値を深め、自覚できるようにする。(發表:全9班、6分)</p> <p>【教師の願い】《自分にもよさがあり、どの人にもよさがあることに気づき、自分も人も大切な存在でありであり、互いに支え合っ、生きていくという価値を自覚させたい。》</p>	14分
<p>終末 教師の話を聞き、本時の学習を振り返るとともに、次時の学習についての意欲を喚起する。 【資料2参照】</p> <p>自己評価・相互評価・授業評価を行う。学習プリントの評価欄に記述する。</p>	<p>【話し】今日は「お互いのよさを発見しよう!」をテーマに学習してきました。相田みつをは、別の詩で「うつくしいものを美しいと思えるあなたの心がうつくしい」と言っています。この心は「お互いを尊重する心」であり、「国際理解につながる心」だと考えます。この心をもって、今回は「地域のよさを発見しよう!」というテーマで学習をしていきましょう。</p> <p>教師の話しから本時の学習を振り返り、さらに、次の「地域のよさを発見しよう!」についての学習へ意欲をもつ。</p> <p>自分自身・級友の取組についての評価と授業に対する感想をまとめる。</p>	<p>相田みつをの詩「うつくしいものを」の拡大コピーを掲示する。範読し、次時の主題「郷土愛」の学習意欲を喚起する。併せて、余韻を残す。 特に、授業評価については文章表記で書かせるようにし、授業改善につなげていく。</p>	6分

4 評価の観点
相田みつをの詩やアクティビティーなどを通して、主題に迫る意欲的な取組ができています。(授業態度の観察、学習プリントの自己評価・相互評価)
グループでの話し合いで、価値に迫る意見交換ができています。(話し合いの観察、学習プリントの自己評価・相互評価)
授業の手だてが効果的であったか。(学習プリントの授業評価「感想」)

主 題 名 “権現山と相沢忠洋（地域のよさを発見しよう！）” 4 - (8) 郷土愛

授業づくりのポイント

授業の展開部において、ゲスト・ティーチャー（郷土史家）の話から、身近な地域に歴史的・国際的に価値を有した文化財の存在に気付き、自ら保護・保存についての対策を考える手だては郷土を愛し、郷土に誇りをもつ態度を育てることに効果があったか。

- 1 ねらい

〔チャレンジ・ウィーク（地域奉仕・伝統文化学習）を目前に控え〕地域人材の話から郷土にかけた先人に尊敬と感謝の念を深め、郷土の文化財に誇るべき価値があることに気付き、自ら保護・保存についての対策案を考えることで、郷土を愛し、郷土に誇りをもち、郷土の発展に努めるようになる。
- 2 ゲスト・ティーチャーとT・Tの形態

井下 久吉さん……郷土史家：元殖産史談会会長・豊城史談会会長、伊勢崎市上諏訪町在住、84歳。
大病を患い入院し、「岩宿遺跡の発見者・相沢忠洋氏」と同室となり、歴史への情熱に感化を受ける。
以後、相沢氏死後も「岩宿遺跡」の歴史的価値を証明した「権現山遺跡」の研究に取り組んできている。

T・Tの形態……【パターンC：展開・終末重視型】
- 3 準備

ゲスト・ティーチャー……掲示用自作年表、権現山遺跡出土旧石器の写真、権現山遺跡を紹介した欧州歴史書のコピー
教師……権現山の拡大写真〔遠景・傷められた掲示板・ゴミが捨てられている場面〕、相沢忠洋氏肖像写真、学習プリント2枚、ウェビングマップ用模造紙、画用紙9枚〔各班1枚ずつ・提案カード用〕、付箋〔一人2枚ずつ〕
資料〔長井謙治作「相沢忠洋『岩宿の発見』を読んで」（青少年読書感想文1992年内閣総理大臣賞）〕
生徒……学習プリントフォルダー、『心のノート』の写し〔pp.112-113「ふるさとに自分ができることはなんだろうか」〕
- 4 展開

学 習 活 動	子 ども の 反 応	教師(T)、ゲスト・ティーチャー(G)の支援及び留意点	時 間	
<p>導入</p> <p>「権現山」に関してイメージすることを学習プリントに書き出す。 【写真】 ↓ 【マップ】</p> <p>〔問題の発見〕 文化財でもある「権現山」が人の手によって傷められている事実に関心、そのことについて思いを出し合う。 ↓ 【写真】 ↓ 【マップ】</p>	<p>T) この「写真(権現山遠景)」はどこの写真でしょうか？(生徒:「権現山!」との反応後)「権現山」についてイメージすることを3つ、学習プリントに自由に書き出してください。この後、発表します。</p> <p>「権現山」からイメージすることを自由連想し、学習プリントに3つ書き出し、発表し合う。</p> <p>「権現山」の掲示板が傷つけられたり、ゴミで汚されていたりしている場面の写真を見て、郷土の文化財が人の手によって傷められている事実に対してどんな思いがするか発表し合う。</p>	<p>T) 発表された事項を内容ごとにまとめ、視覚的に理解できるようにウェビングマップ形式で模造紙にまとめる。</p> <p>T) 「権現山」が文化財であることに触れ、現状の写真を示しながら大切にされていない事に気付くようにする。</p> <p>T) 現実の問題について感じた子どもの思いを色を変えて上記のウェビングマップに書き出す。</p>	6分	
<p>展開</p> <p>ゲスト・ティーチャーの話聞き、「権現山」の文化的価値の大きさに気付く。また、「権現山」の価値が国際的なものであると発見した先人「相沢忠洋氏」に対する尊敬と感謝の念を深める。 【ゲスト・ティーチャー】</p>	<p>ゲスト・ティーチャーについての教師の紹介を聞く。 * (随分お年寄りだなあ。) * (どんなお話をしてくれるのかなあ。) * (権現山について何か教えてくれるのかなあ。)</p> <p>歴史で学んだ「故・相沢忠洋氏」について話を聞き、先人の功績に尊敬と感謝の念を深める。 * (教科書の最初に出ていたなあ。) * (井下さんと同室だったなんて身近に感じる存在だなあ。) * (納豆売りの行商から偉大な発見をした人で素晴らしいなあ。)</p> <p>身近で平凡であると感じていた「権現山」が文化的価値を有した存在であることに気付く。 * (もしも「権現山遺跡」が発見されなかったら「岩宿遺跡」があれば注目されなかったのかあ。) * (ヨーロッパの歴史書に「Gon gen yama」と紹介されていて、国際的にもすごいなあ。) * (「権現山」って本当にすごいなあ。)</p> <p>身近な地域の人が郷土の文化について、誇りをもって保護活動をしている事実について気付く。 * (井下さんは、すごいなあ。) * (長年よく調べてきたなあ。) * (「権現山」に文化財の解説掲示板</p>	<p>G) ゲスト・ティーチャー</p> <p>T) 教師</p> <p>「権現山」の文化的価値、研究や保護活動をしてきた思いについて話す。</p> <p>「相沢忠洋氏」との病室での出会いや氏の功績について話す。</p> <p>「権現山」の文化的価値を話す。 * (歴史性) 岩宿遺跡の考古学的な実在を証明した遺跡である。 * (国際性) このことから欧州の歴史書には「権現山」が紹介されている。</p> <p>「権現山」の研究や保護活動をしてきた思いを話す。</p>	<p>ゲスト・ティーチャーの紹介を行う。 地元の郷土史家である。権現山の研究者である。社会科で学習した「相沢忠洋氏」と縁がある。</p> <p>「権現山」の文化的価値、研究や保護活動をしてきた思いについて話してもらう。</p> <p>相沢忠洋氏の肖像写真を掲示する。</p> <p>ゲスト・ティーチャー自作の年表を掲示する。</p> <p>ゲスト・ティーチャー所有の欧州の歴史書のコピーを提示する。</p> <p>郷土の象徴でもある「権現山」の保護活動の労苦の一端をゲスト・ティー</p>	8分



資料を読み、筆者の相沢忠洋氏への思いについて話し合う。
【資料参照】
【学習プリント1】

や野鳥観察所などができたのはこうした人たちのおかげなのだろう。)

中学2年生(愛媛県今治市立桜井中学校・長井謙治作)の感想文「相沢忠洋『岩宿の発見』を読んで」の資料を読む。

チャーに話してもらおう。

文中に書かれた「赤土(関東ローム層)」「やり型石器」等の語句について写真や図版を示しながら解説する。

【資料】を配布し、範読する。

【学習プリント1】を配布する。

T) 筆者の長井君は、「相沢忠洋さん」のどんなところに感動し、ひかれていますか。学習プリントにそう考えることを3つ書き出し、発表してください。

筆者の「相沢忠洋氏」への思いについて話し合う。
*日本代表の考古学者だ。
*岩宿遺跡や旧石器時代を発見した。
*僕とよく似ていて、土器や石器を見つけようと、よく山や畑をぶらつく少年だった。
*土器や石器を手に、祖先の人々のささやきを感じ取っていた。
*作った人の手形まで想像していた。
*石器や土器を見つけたときの感動。それをいとおしむ思いが同じ。
*当時の考古学界の常識を打ち破る発見をした。
*死の世界だと思われていた赤土の中にひょっとしたら人類が存在していたらと考えていた。
*疑問を解決しようと、毎月のように赤土へ足を運んでいた。
*努力によって完全な「やり型石器」を発見した。
*やり型石器の発見で大昔の人々の気持ちと見事に通じ合った。
*大きな希望と夢を与えてくれた。
*相沢さんの拾った石器が日本の考古学界を大きく変えた。

机間支援を行い、質問を受ける。

学習の様子、学習プリントの書き込みなどの観察を行う。

筆者の「相沢忠洋氏」への思いについて学習プリント1に書くように指示する。

机間支援を行う。

学習の様子、学習プリントの進捗状況を把握する。

この後の学習活動を考え、発表時間をしっかりと押さえるよう留意する。

8分



筆者の文化財の保護・保存についての思いについて話し合う。

T) 長井君は「土器や石器などの遺物」の保護・保存についてどういう思いでいますか。学習プリントに「思い」を書き込み、発表してください。

筆者の「土器や石器などの遺物」の保護・保存についての思いを話し合う。
*昔の人々の気持ちが込められた石器や土器片は、ぼくたちの知らない、平安時代・室町時代など、何千年もの間をじっと土の中でこもり、その時代ごとを見てきた大切な大切な遺物であるのだ。
*土器や石器、これらの遺物は単なる遺物ではない。まさしく時代の時をストップさせてくれ、大昔の思いを伝えてくれる、大切な一つのタイムカプセルだと思う。
*このタイムカプセルは、未来の子どもたちや人々にも伝え、残していかなければ成らないものだ。
*今のぼくたちには、それを守る義務がある。

学習の様子、学習プリントの書き込みなどの観察を行う。

筆者の「土器や石器などの遺物」の保護・保存についての思いを学習プリント1に書くように指示する。

机間支援を行う。

【教師の願い】《筆者の長井君とゲスト・ティーチャーの井下さんには、文化財を保護・保存することについて共通して、非常に重要なことであるとの思いがあることに気付かせたい。》

6分



「権現山」をはじめ「郷土の宝」の保護・保存について一人一人対策案を考える。
【個別学習】
【心のノートp.112】

T) 「相沢忠洋氏」の足跡が残る「権現山」をはじめ、郷土にはたくさんの文化財や伝統的な風習があります。これからもこのような「郷土の宝」を永久に保護・保存していくための対策を一人2案考えて「心のノート」に書いてみよう。それをグループで出し合って、その後、代表がまとめたことを提案交流をしよう。

「権現山」が貴重な文化財であることを理解し、この保護・保存策について個別に2案考え、「心のノート」にまとめる。また、付箋に書き出す

学習の様子、「心のノート」の書き込みなどの観察を行う。

「郷土の誇り」である「権現山」の保護・保存策を各自で具体的に2案考えて「心のノートp.112」にまとめ、付箋に書き出すように支援する。

(4分)

(10分)



対策案を小グループに持ち寄り、発表し合う。

個別に考えた対策案を小グループ毎に持ち寄り、「提案カード」に出し合い、まとめる。

対策案をまとめる話し合いの際、各グループが

【提案カード】を配布しまとめ方(付箋のものを

18分

<p>【グループ学習】</p> <p>各グループの対策案について提案交流を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> * クリーン作戦できれいにする。 * 傷められた掲示板を修理する。 * 自分たちでも保護を呼びかける掲示板を作る。 * 「権現山」等のことをもっと分かるように見学したり詳しく調べる。 * 「権現山」等の価値を訴える全校向け新聞を作る。 * 地域の歴史や文化財についての展示コーナーを作る。 * 井下さん等のお年寄りの力をかり、文化財や伝統的な風習のなどを教えてもらい、自分たちが未来へ伝えていく。 * もっと市内の人たちに「殖蓮のこと」を広報などでアピールしたい <p>各グループの対策案について提案し合い交流する。 ーグループの提案 40 秒 × 9 グループ</p>	<p>らの質問を受け、アドバイスを。</p> <p>提案交流の様子を観察する。</p>	<p>発表し合う)を話す。机間支援を行う。 【教師の願い】《地元の人にとってとかく見慣れた文化財であってもそれは「地域の宝」であったり、「人類の至宝」であったりする。その地域に住む人々がこれを保護・保存しなければ未来へ継承できなくなってしまふ。そのため、具体的に保護・保存の対策案を考えることで郷土に目を向け、郷土を愛する心を育てたい。》</p> <p>グループの記録係が「提案カード」を黒板に掲示して発表するよう指示する。</p>	<p>(4分)</p>
<p>【終末】</p> <p>ゲスト・ティーチャーの話聞き、本時の学習を振り返る。</p> <p>自己評価・相互評価・授業評価を行う。 【学習プリント2】</p>	<p>G)【説話】「権現山」のことについて一人一人が真剣に考えてくれました。私たちの故郷には大切なものが沢山あります。今日の授業でやったように郷土を見つめる心を大事にして、未来の人たちへ大切なものを受け継いでいってください。</p> <p>ゲスト・ティーチャーの説話から本時の学習を振り返る。</p> <p>自分自身・級友の取組についての評価と授業に対する感想をまとめる。</p>	<p>郷土の後継者への期待を込めて語る。</p>	<p>説話についてあらかじめ内容を打合せておく。</p> <p>学習評価用の【学習プリント2】を配布する。</p>	<p>4分</p>
<p>【事後】</p> <p>本時の学習を深める。 【手紙用紙】</p> <p>【心のノートp.113】</p>	<p>ゲスト・ティーチャーの井下久吉さんへ御礼の手紙を書く。</p> <p>「心のノートp.113」の「20年後のあなたへ」「ふるさとについて、あなたが伝えたいこと」を考えて書く。</p>	<p>授業に参加した感想と子どもたちの取組について評価する。 (外部評価)</p>	<p>【手紙用紙】を配布し、書き方を説明する。回収後、冊子にして届ける。</p> <p>【教師の願い】《郷土を愛する心を耕したい。》</p>	<p>2日間</p>

- 5 評価の観点
- ゲスト・ティーチャーの話や中学2年生の感想文などを通して、主題に迫る意欲的な取組ができている。
(授業態度の観察、学習プリントの自己評価・相互評価、ゲスト・ティーチャーへの御礼文)
- グループでの話し合いや提案交流で、価値に迫る意見交換・提案ができている。
(話し合いの観察、提案交流の観察、提案カードの内容、学習プリントの自己評価・相互評価)

主 題 名 “日本の伝統や文化に誇りをもっていますか?” 4-(9)愛国心

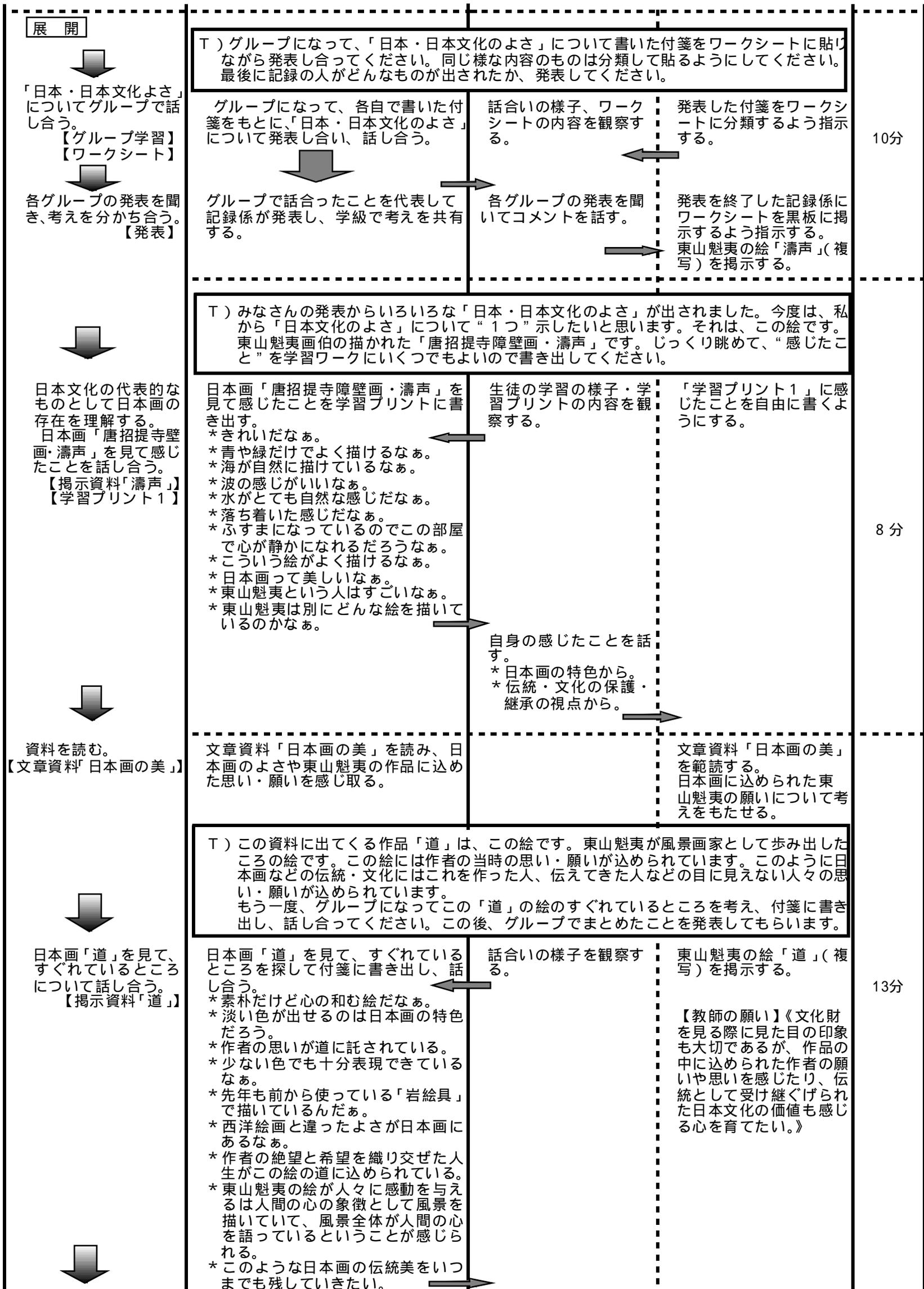
授業づくりのポイント
 授業の主資料として、「東山魁夷の日本画」を取り上げ、生徒とゲスト・ティーチャー(文化財保護指導委員)との交流活動を行うことは、自ら日本の伝統美や日本文化のよさに気付き、日本の伝統や文化に誇りをもつことに効果的であったか。

- 1 ねらい
 地域人材(文化財保護指導委員)との交流から自ら日本の伝統や文化のよさに気付き、日本人として〔日本に学ぶ者として〕の自覚をもって、日本の伝統の継承、文化の創造に貢献していきたいという気持ちをもつ。
- 2 ゲスト・ティーチャーとT・Tの形態
 星野 正明さん..... 郷土史家・群馬県文化財保護指導委員・殖蓮史談会会長、伊勢崎市東本町在住、70歳。
 地域の歴史をはじめ、日本歴史に造詣が深く、文化の発掘、復権、普及に努める。伊勢崎市内にある「原之城遺跡」は全国随一の古代豪族館跡であるが、こうした文化財について広く市民にその価値を発信し、保護・保存のために情熱を注いでいる。その他、多くの文化財についても詳細な研究、保存に取り組んできている。長年の文化財保護・発展活動の功績によって、本年2月「伊勢崎市文化功労賞」を受賞している。なお、著書に『殖蓮風土記』他多数。また、民話の研究なども行っている。
- T・Tの形態.....【パターンD：一連掛け合い型】
- 3 準備
 ゲスト・ティーチャー.....自身の「文化的な宝物」の現物〔国字の刻まれた古代の土器など〕
 教師.....東山魁夷画「唐招提寺壁画」と「道」の写真、地域に点在する文化財の写真、VTR、学習プリント2枚、ウェビングマップ用模造紙、画用紙9枚〔各班1枚ずつ・ワークシート用〕、付箋、資料〔光村図書編纂委員会著「日本画の美」(『中学道徳1』光村図書2002年 112~113頁所収)〕
 生徒.....学習プリントフォルダー、『心のノート』の写し〔114~117頁「この国を愛しこの国に生きる」〕
- 4 展開

事前 学習の見通しを持つ。 【心のノートp.114~117】 地域の文化に触れる。	子 ども	ゲスト・ティーチャー 学習の流れの確認。 東本町地区の文化講座講師。	教 師 ゲスト・ティーチャーとの打合せ。 【チャレンジ・ウィーク】の参観。	2週間前
---------------------------------------------------------------	------	----------------------------------------------	-------------------------------------------------	------



学 習 活 動	子 ども の 反 応	教師(T)、ゲスト・ティーチャー(G)の支援及び留意点	時 間
導入 ALTに「日本・日本文化のよところ」についてインタビューしたVTRを視聴する。 【VTR】 ↓ 【問題の発見】 ALTがよさと感じる日本・日本文化以外で自分で伝統や文化として未永く継承したいものを考えていくという自らの問いをもつ。 【ゲスト・ティーチャー】 ↓ 「日本・日本文化のよさ」を考えて、できるだけ多く付箋に書き出す。 【個別学習】 【付箋】	T) ALTが感じている「日本・日本文化のよさ」についてのVTRを視聴してください。日本に来ているALTは、日本のどのようなどころによさを感じ取っているのでしょうか?よく聞き取って、視聴後、発表してください。 ALTのインタビューから外国人が感じている「日本・日本文化のよさ」について気付く。 気付いたことを発表する。 * 京都・奈良・富士山。自然。 * 書道・華道、寿司・天麩羅。 * 日本人は真面目・勤勉。	G) ゲスト・ティーチャー T) 教 師 VTRを流す。冒頭の発問をする。 ALTの話と生徒の発表を聞いてコメントを話す。 ゲスト・ティーチャーの紹介を行う。 * 群馬県文化財保護委員。 * 去年の総合学習の講師。 G) ALTがよさと感じている日本・日本文化のほかに、私たちが誇りにでき、伝統や文化として未永く継承すべきところはないでしょうか? ゲスト・ティーチャーの質問から「日本・日本文化のよさの発見」という問いをもつ。 T) 日本・日本文化で私たちが誇りにでき、伝統・文化として未永く継承すべきところを思い描き、できるだけ多く付箋に書き出してください。 自分が考える「日本・日本文化のよさ」をできるだけ多く付箋に書き出す。 * 衣食住に関するもの * 伝統行事に関するもの * 歴史・文化の地域に関するもの 文化の繊細さ。 美しさ。 気遣いがある。 謙虚さがある。	10分



<p>終末</p> <p>本時の学習を深める。 【ゲスト・ティーチャーの宝物】 【学習プリント1】</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>自己評価・相互評価・ 授業評価を行う。 【学習プリント2】</p>	<p>G)【説話】東山魁夷の絵から、皆さんは日本文化のよさについてしっかりと捉えてくれました。終わりに、私の「宝物」の話聞いてください。</p> <p>ゲスト・ティーチャーの説話を聞き、「日本・日本文化のよさ」について多角的に捉えることの大切さ、これを愛する人の存在に気付く。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ゲスト・ティーチャーとの質疑応答を行う。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ゲスト・ティーチャーの説話から「日本・日本文化のよさ」についてどのような思いで受け止めたかを学習プリントに思いをまとめる。</p> <p>自分自身・級友の取組についての評価と授業に対する感想をまとめる。</p>	<p>生徒の発表を受け止め、自分自身の日本文化の思いを話す。また、自身の「文化的な宝物」について話す。</p> <p>質問に答え、思いを伝える。</p> <p>学習の様子と学習プリントの内容を観察する。</p>	<p>ゲスト・ティーチャーの説話に反応しながら話が子どもたちの心にしみるように雰囲気づくりに努める。この際、ゲスト・ティーチャーの宝物をよく見えるように示す。</p> <p>【学習プリント1】にまとめるように指示する。</p> <p>学習評価用の【学習プリント2】を配布する。</p>	9分
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----



<p>事後</p> <p>本時の学習を広げる。 【手紙用紙】</p> <p>【心のノートp.115】</p>	<p>ゲスト・ティーチャーの星野正明さんへ御礼の手紙を書く。</p> <p>『心のノートp.115』の「日本・日本文化のよさ」について考えを再び、まとめる。</p>	<p>授業に参加した感想と子どもたちの取組について評価する。 (外部評価)</p>	<p>【手紙用紙】を配布する。回収後、冊子にして届ける。</p> <p>『心のノート』で「日本・日本文化のよさ」について再度考えるようにする。</p> <p>【教師の願い】《事前アンケートや『心のノート』などの記述から伝統・文化を誇りに思う心の変容をみとりたい。》</p>	2日間
-------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----

- 5 評価の観点
 ゲスト・ティーチャーとの交流や日本画の資料の活用などを通して、主題に迫る意欲的な取組ができています。
 (授業態度の観察、学習プリントの自己評価・相互評価、ゲスト・ティーチャーへの御礼文)
- グループでの話し合いや発表活動を通して価値に迫る意見交換ができています。
 (話し合いの観察、発表活動の観察、ワークシートの内容、学習プリントの自己評価・相互評価)

主 題 名 “近くて遠い国それは?” 4-(10)国際理解

授業づくりのポイント
 授業の導入場面において、ゲスト・ティーチャー(在日中国人)の「偏見・差別を受けた体験談」を聞くことは、主価値である「真の(偏見なき)国際理解」を主題とした話し合いを深めていく手だてとして効果的であったか。

- 1 ねらい
 地域人材(在住外国人)による日本における異文化体験を聞くことをきっかけに、「真の国際理解」に迫る話し合いを充実して、世界の中に生きる人間として身近な地域の国際化から国際貢献に努めるようになる。
- 2 ゲスト・ティーチャーとT・Tの形態
 周 建津さん.....中華人民共和国天津市出身。中国で最も尊敬を受けている故・周恩来総理の母校、名門の南開大学卒業。(チョウ チェンシン) 中国で企業に勤めた後、中日貿易に関わり、来日。現在、日中貿易の会社社長を務めるほか、本場の中国料理店「金鳳」(伊勢崎市に本店を置き、県内各地に支店を有する)のオーナーも努める。
 中国の食文化を通じて文化交流を推進する。伊勢崎市在住。
 T・Tの形態.....【パターンA：導入重視型】
- 3 準 備
 ゲスト・ティーチャー.....中国の料理道具など自身の職業に関するもの。
 教師.....王貞治氏の肖像写真(ホームラン世界新記録時の写真、本年度パ・リーグ優勝監督としての胸上げ写真) 学習プリント2枚、役割分担表示カード、役割分担くじ、資料[王貞治著『回想』より「国」(『かけがえのないきみだから 中学生の道徳1年』学研 2002年 136~139頁所収)]
 生徒.....学習プリントフォルダー、『心のノート』の写し(118~119頁「世界に思いをさせよう」)
- 4 展 開

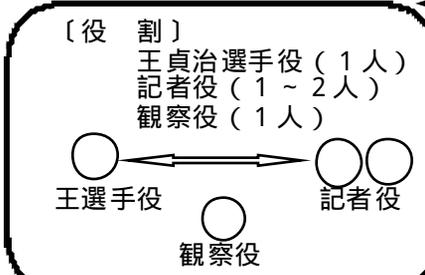
事前 学習の見通しを持つ。 【心のノートp.118~119】	子 ども	ゲスト・ティーチャー 学習の流れの確認。	教 師 ゲスト・ティーチャーとの打合せ。	1週間前
---------------------------------------------	------	-------------------------	-------------------------	------



学 習 活 動	子 ども の 反 応	教師(T)、ゲスト・ティーチャー(G)の支援及び留意点	時 間	
導入 【問題の発見】 ゲスト・ティーチャーの話を読み、文化の違いや外国人とのかかわりの中で起こっている偏見や差別について認識する。 【ゲスト・ティーチャー】	ゲスト・ティーチャーの話を読み、文化の違いや外国人への偏見・差別の実情について認識する。 * 習慣や考え方などに文化の違いがあるんだなあ。 * 外見は同じ様に見えるので外国人とは思わなかったなあ。 * 日本で生活している外国人へ言葉遣いや習慣の違いから偏見や差別が起こっているんだなあ。 * 周先生は偏見を受けながら苦労してきたんだなあ。	G) ゲスト・ティーチャー 自己紹介をする。 * 仕事のこと、家族のことなど。 来日してから、生活を通して気付いた日中文化の違いや受けた偏見・差別の体験について話す。 * 習慣や考え方の違いについて話す。 * 外見から外国人に見られず、言葉遣いなどから差別的な行為を受けた体験を話す。 * 偏見や差別を受けた際の気持ちを話す。	T) 教 師 ゲスト・ティーチャーの紹介を行う。 * 日中貿易の会社経営。 * 中国料理専門店支配人。 * 食文化を通して友好活動を推進。 ゲスト・ティーチャーの話のキーワードを板書する。 本時の主価値である「真の国際理解」について問いを投げかける。	12分
T) 周先生は、長く日本に住み、その間、受けた偏見や差別の体験についてお話していただきました。偏見や差別なく交流していくためにはどのようなかかわりが大事であるのか考えていきましょう。				
展開 文章資料から、外国人に対する偏見や差別の実態を心情的に理解する。 【王貞治の写真2枚】 【文章資料「国」】	文章資料から王貞治(現・福岡ダイエーホークス監督)が選手時代に、記者たちに「国籍」のことを忘れられ偏見のある質問をされた事実について心情的に理解する。	生徒の学習の様子を観察する。	王貞治の写真2枚を掲示する。 文章資料「国」(王貞治著)を範読する。 王貞治の偏見を受けた体験から、王貞治の思いを考えるように発問する。	8分
T) 記者たちから偏見をもって質問された王貞治選手の気持ちになって、「学習プリント1」の吹き出しに王選手の思いを書いてください。それを発表してもらいます。				

<p>人の人とのかわりの中で、偏見や差別を受けている人たちの思いを、王選手の気持ちに託して考え、発表し合う。【学習プリント1】</p>	<p>記者たちから偏見をもって質問された王貞治の思いを考えて、「学習プリント1」の吹き出しの中に書き込み、発表し合う。</p>	<p>生徒の学習の取組を観察する。</p>	<p>「学習プリント1」を配布し王貞治の思いを考えてまとめさせ、発表するようにする。</p>
---------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	-----------------------	------------------------------------------------

<p>3～4人組を作り、王選手が記者たちから偏見による発言を受けた場面のロールプレイを3回行う。 【役割くじ】 【ロールプレイ1回目】</p>	<p>T) 3～4人組を作り、役割演技を行います。場面は、記者たちが王貞治選手に不用意な質問を投げかけてくるところです。3人の班は、王貞治役・記者役・観察役にそれぞれ分かります。また、4人の班は、記者役を1人増やします。配布した「役割分担くじ」を引いて役割を決めてください。 まず、記者が話しかけ、王貞治選手が答えます。また、この時、先ほど学習プリントに書いた王選手の気持ちを言葉や表情に表して記者たちに伝えてください。観察役の人は、記者や王選手の役の人たちに「こういうところがよかった。」と話してあげてください。 なお、周建津先生にもどこかの班に入ってください、役割演技してもらいます。</p>	<p>20分</p>
---------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------

<p>【ロールプレイ2回目】</p> <p>【ロールプレイ3回目】</p> <p>ロールプレイを通して感じたことを学習プリントに整理する。 【学習プリント1】</p>	<p>「学習プリント1」に書き出した王貞治の思いを体感できるように、3～4人組になって役割をくじで決めロールプレイを演じる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〔役割〕</p> <p>王貞治選手役(1人)</p> <p>記者役(1～2人)</p> <p>観察役(1人)</p>  </div> <p>* 王選手役と記者役は、資料の文章に捕らわれないで演じる。 * 観察役は、それぞれの役のよいところを演じ手に伝える。</p> <p>合図をもとに、班内で役割を交代し2回目を演じる。</p> <p>合図をもとに、班内で役割を交代し3回目を演じる。</p> <p>ロールプレイでそれぞれの役を通して感じたことを「学習プリント1」にまとめる。</p>	<p>生徒の中を回って観察したり、生徒とともにロールプレイに加わり演じ、交流する。</p> <p>生徒とともにロールプレイを演じ、交流する。</p> <p>生徒とともにロールプレイを演じ、交流する。</p>	<p>ロールプレイの場面設定・役割分担・進め方について説明する。 * 場面...王貞治選手が記者の不用意な発言を受け、それに応じる場面。 * 役割分担...くじで決定する。 * 進め方...2回目からは役割分担を交代する。</p> <p>【教師の願い】ロールプレイを行い、それぞれの役を通して、偏見のあるかわりでは真の国際理解につながらないことを体感させたい。</p> <p>合図を出し、班内での役割を交代するようにし、立場を代えて心情を理解するようにする。</p> <p>「学習プリント1」にそれぞれの役を通して感じたことをまとめるようにする。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>偏見をもたず、人々との誠実なかわりが真の国際理解につながることに気付く。 【ゲスト・ティーチャーとのロールプレイ】</p>	<p>T) 何人かの人に代表として役割演技を演じてもらいます。これを見て偏見なく国際理解を進めていくためには人と人とのどのようなかわり方が大事なのかを考えてください。</p> <p>代表のロールプレイを見た後、国際理解を進めていくために人と人との何が大事なのかを考える。 * 相手のことをよく知ったうえでのかかわり。 * お互いに理解し合ったかわり。 * 人と人との誠実なかわり。</p>	<p>王選手の役になり、生徒の代表とのロールプレイを演じる。</p>	<p>【教師の願い】人と人とのかわる場面を共通に見合うことで、どのようなかわり方が大事なのかを考えさせたい。</p>
----------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------------------------------

<p>終末</p>	<p>G)【説話】この伊勢崎に住んで何年にもなります。この市も国際化は一段と進んでいます。こうした中で皆さんには日本人と外国人が会える絶好の機会があります。お互いに誠実に分かり合うことから「真の国際理解」が始まるのです。</p>	<p>10分</p>
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------

<p>本時の学習を深める。 【説話】</p> <p>「真の国際理解」について自分の思いをまとめる。 【学習プリント1】</p> <p>自己評価・相互評価・授業評価を行う。 【学習プリント2】</p>	<p>ゲスト・ティーチャーの説話を聞き、「真の国際理解」について相互の立場に立って捉えることが大切であることに気付く。</p> <p>ゲスト・ティーチャーの説話から「真の国際理解」についてどのような思いで受け止めたかを「学習プリント1」に思いをまとめる。</p> <p>自分自身・級友の取組についての評価と授業に対する感想をまとめる。</p>	<p>生徒の学習活動を受け止め、「真の国際理解」を進めていく視点から話す。</p> <p>学習の取組と学習プリントの内容を観察する</p>	<p>ゲスト・ティーチャーの説話に反応しながら話が子どもたちの心にしみように雰囲気づくりに努める。 【学習プリント1】にまとめるように指示する</p> <p>学習評価用の【学習プリント2】にまとめるよう指示する。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



<p>事後 本時の学習を広げる。 【手紙用紙】</p> <p>【心のノートp.118～119】</p>	<p>ゲスト・ティーチャーの周建津さんへ御礼の手紙を書く。</p> <p>『心のノートp.118～119』の「世界に思いをはせよう」について考えを再び、まとめる。</p>	<p>授業に参加した感想と子どもたちの取組について評価する。 (外部評価)</p>	<p>【手紙用紙】を配布する。回収後、冊子にして届ける。</p> <p>『心のノート』で「真の国際理解」について再度考えるようにする。 【教師の願い】《偏見のない人間対人間の交流が真の国際理解につながることを手紙文や『心のノート』の記述内容からみとりたい。》</p>	<p>2日間</p>
--------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------

5 評価の観点

ゲスト・ティーチャーとの交流やロールプレイの活用などを通して、主題に迫る意欲的な取組ができています。
(授業態度の観察、学習プリントの自己評価・相互評価、ゲスト・ティーチャーへの御礼文)

グループでの役割演技や発表活動を通して価値に迫る意見交換ができています。
(役割演技の観察、発表活動の観察、ワークシートの内容、学習プリントの自己評価・相互評価)

主 題 名 “愛は地球を救う” 4-(10)人類愛

授業づくりのポイント
授業の展開場面において、戦時における人権の優先順位を考えるグループワークを行ったあと、日本赤十字社の海外救援活動の取組に関するインタビューのVTRを視聴することで、平和の大切さと互いに尊重し共に生きるための国際貢献に努めようとする態度を育てていく手だてとして効果的であったか。

- 1 ねらい
戦時における人権の優先順位を考えることで平和の大切さに気付き、国際社会に貢献している日本赤十字社の海外救援活動の実情に触れることで互いに尊重し共に生きるための国際貢献に努めようとする態度を育てる。
- 2 ゲスト・ティーチャーとT・Tの形態
松本 賢(まさる)さん.....日本赤十字群馬県支部職員。現在、「青少年赤十字」を担当し、学校教育との連携のもと、健康安(VTR出演) 全、奉仕、国際理解・親善の活動の普及に努めている。
T・Tの形態.....【パターンB:ワークショップ型】
- 3 準 備
ゲスト・ティーチャー(貸与).....世界の対人地雷模型、戦争や地雷による被害状況の写真パネル、日本赤十字社の国際活動の写真パネル
教師.....学習プリント2枚、戦争やテロに関する新聞記事と記事を貼る模造紙、国際人道法パズル(生徒数分)
VTR〔日本赤十字群馬県支部職員へのインタビュー記録〕、マインド・マップ
ワークショップ資料〔日本赤十字社編『児童生徒のための国際人道法ワークブック』日本赤十字社刊 2002年 所収のワークシート〕
提示資料〔ボスニア・ヘルツェゴビナの子どもたちの絵(こやま峰子『地雷のあしあと-ボスニア・ヘルツェゴビナの子どもたちの叫び』小学館 2003年 所収)〕
配付資料1〔対人地雷の種類(日本赤十字群馬県支部提供)〕
配付資料2〔青少年赤十字活動資金の目的・新規支援事業の紹介・支援対象国の状況(日本赤十字群馬県支部提供)〕
生徒.....戦争やテロに関する新聞記事、学習プリントフォルダー、『心のノート』の写し〔120~121頁「この星の一員として」〕
- 4 展 開

事前	子 ども	ゲスト・ティーチャー	教 師	
学習の見通しを持つ。	戦争やテロに関する新聞記事を収集、熟読し、戦争と平和について関心をもつ。	VTR出演としてインタビューに答える。	VTR出演のゲスト・ティーチャーへのインタビューを行う。	1週間前

学 習 活 動	子 ども の 反 応	教師(T)、ゲスト・ティーチャー(G)の支援及び留意点	時 間
導入		G)ゲスト・ティーチャー(VTR出演) T) 教 師	
<p>【問題の発見】</p> <p>自分たちで持ち寄った戦争に関する新聞記事を出し合っ、世界で起こっている戦争やテロの悲惨な現状を認識する。 【戦争に関する新聞記事】 【記事を貼る模造紙】 【学習プリント1】</p>	<p>T)「平和」って何だろう？日本では安心して暮らせるのが当たり前になっています。食料も生活用品も満ち足りていますし、けがや病気をしても優れた医療にかかることができます。もちろん戦争ありません。ところが世界はどうでしょうか？ここで、皆さんの集めた「戦争やテロ」の記事を黒板の模造紙に各自貼ってください。皆さんに「戦争やテロ」の記事を集めてもらいましたが、世界には戦争やテロが続いている国や地域がまだまだありますね。この掲示物を見てどう思いました？思ったことを「学習プリント1」に書いてください。このあと、何人かの人に発表してもらいます。</p> <p>↓</p> <p>持ち寄った戦争やテロに関する新聞記事を黒板に掲示した模造紙に各自貼り、出し合う。</p> <p>↓</p> <p>できあがった掲示物を見て思ったことを「学習プリント1」にまとめる。 *こんなにたくさんの戦争やテロが起きているんだあ。 *戦争やテロで多くの人々が亡くなっているなあ。 *被害を受けた家族はどんなにか悲しい思いにちがいない。 *どうして戦争やテロがなくならないのだろうか。 *日本は平和でよかったなあ。</p>	<p>模造紙にあらかじめ、数例の記事を貼っておき、貼り方が分かるようにする。</p> <p>【教師の願い】「平和」を志向する「人類愛」の価値に向けて、現在の自分と向き合うようにさせたい。</p>	10分
展開		<p>T)「戦争にもルールがある」ことを知っていますか？これから3~4人組になってグループワークを行います。世界人権宣言にもとづいて戦時(戦争中)であっても国家によって基本的人権を制限できないものもあります。各班で話し合っ、戦時でも守られるべき人権と制限される人権に振り分けてください。分ける際に、守られるべき人権についてはピンク色の画用紙の方に貼ってください。制</p>	

限される人権については水色の画用紙に貼ってください。
振り分けた理由を各班の代表に発表してもらいます。

世界人権宣言における戦時の人権規定についてのワークショップを行う。
【世界人権宣言人権カード・ワークショップ】
【グループ学習】

グループになり、世界人権宣言における戦時の人権規定について話し合い、振り分けた理由を代表が発表する。
*〔ピンク色の画用紙〕
「絶対守られなければ生きていけないよ。」
*〔水色の画用紙〕
「緊急時なのでこれは制限されても仕方ないかな。」

世界人権宣言は、国際的に認められた人権の規約であること、この規約を遵守することで互いの人権を尊重することにつながることを、戦時の一般的な人権保障について取り決めていることを説明する。
【教師の願い】毎日報道されている戦争やテロの状況と世界人権宣言の規約との食い違いに気付かせたい。

15分



T) 戦時のような緊急時であっても、その地域には子どもやお年寄りをはじめ生命をもった弱者がたくさん暮らしています。現実、そうした人たちは生きていくことがままならない状況下にあります。こうした人々を支援しようと「国際活動」を展開している団体はたくさんあります。今日は、皆さんが加盟している青少年赤十字(JRC)の母体である日本赤十字社職員の松本賢さんのインタビューをVTRで見てください。
日本赤十字社はどのような思い・願いをもって、どんな「国際活動」をしているのか、よく見てください。

VTR出演の日本赤十字社員：松本賢さんの話を聞く。
【VTR】
【対人地雷模型】
【戦争やテロによる被害状況の写真パネル】
【日本赤十字社の国際活動の写真パネル】

国際社会の戦争やテロによる悲惨な現状を認識する。

↓
人類の希望、発展を信じ、日本赤十字社並びにボランティアの人たちの国際活動の実態に気付く。

↓
学校で行っている青少年赤十字活動(JRC)の「一円玉募金活動」の意義を理解し、この小さな活動が「国際活動」の場で大きな力になっていることに気付く。

↓
この活動に期待を寄せてくれている国や地域があること、中学生も立派に「国際活動」に貢献できることを実感する。

【VTR】
平時も、戦時でも変わらずに、日本赤十字社は生命尊厳の立場から人道の精神で「国際活動」を行っていることを紹介する。

- * 飢餓地域へ... 食料や薬品などの送付。
- * 水不足地域へ... 井戸の工事、衛生管理の技術支援。
- * 戦争地域へ... 食料・医療支援、難民救護。
- * 非識字地域へ... 教育支援。
- * 「一円玉募金活動」の意義。

↓
「国際人道法」の観点から戦時の禁止事項について問題を出す。

日本赤十字社職員の話が具体的・立体的に理解できるように、教室環境として、「対人地雷模型」・「戦争や地雷による被害状況の写真パネル」・「日本赤十字の国際活動の写真パネル」を展示しておく。

VTRの説明に合わせてパネルや対人地雷模型を指し示す。



G) 【VTR】戦時の場面のイラストがありますが、この絵(生徒の手元には同様の絵のパズルがある)の中で「間違っている行為」は何でしょうか? 考えてみてください。

17分

「国際人道法」の観点から戦時における禁止行為を考え、話し合う。
【グループ学習】
【国際人道法パズル】

戦時であっても弱者救済の人道の精神が守られるべきことを「国際人道法パズル」を使って、グループで話し合う。

↓
話し合ったことを発表し合い、人道の精神を実感し合う。
* 戦時ばかりでなく、平時にも人道の精神が必要であることに気付く。

「国際人道法パズル」を配布する。

「人道の精神」は、戦時ばかりでなく、平時にも持ち続けることが大切であることを「国際人道法パズル」で確認させる。



終末

T) 【説話】ボスニア・ヘルツェゴビナの子どもの絵を見てください。子どもたちの魂の叫びが聞こえますか? 世界平和のために自分のできることは何でしょうか?

8分

本時の学習を深める。
【説話】
「平和」について思いをマインド・マップに、地球の一員としての思いを『心のノート』にまとめる。
【マインド・マップ】
【心のノートp.120~121】

ボスニア・ヘルツェゴビナの子どもたちが地雷の被害を受けて描いた絵の話を聞き、平和の尊さとした人々への貢献の誓いをもつ。

↓
「世界平和」について自分ができることや思いをマインド・マップに、「地球の一員」としての自分の思いを『心のノート』にまとめる。

↓
【教師の願い】国際人道法に違反する対人地雷の被害を受けた子どもたちの思いを絵から感じ取らせたい。

↓	自己評価・相互評価・授業評価を行う。 【学習プリント2】	自分自身・級友の取組についての評価と授業に対する感想をまとめる。	学習評価用の【学習プリント2】にまとめるよう指示する。
---	---------------------------------	----------------------------------	-----------------------------



事後 本時の学習を広げる。 【手紙用紙】 国際理解シリーズ学習全体を振り返って、感想文と「国際理解マインド・マップ」をまとめる。	ゲスト・ティーチャーの松本賢さん（VTR出演）へ御礼の手紙を書く。 全5回の国際理解シリーズ学習を振り返り、感想文と「国際理解マインド・マップ」をまとめる。	【手紙用紙】を配布する。回収後、冊子にして届ける。 【教師の願い】《平和を志向して、現実の厳しさを誠実に認識し、自分として平和を愛し、貢献しようとする態度が育っているかを手紙文やマインド・マップ、『心のノート』の記述内容からみとりたい。》	2日間
--------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----

- 5 評価の観点
 ワークショップやゲスト・ティーチャーのインタビューを聞く活動などを通して、主題に迫る意欲的な取組ができている。
 （授業態度の観察、学習プリントの自己評価・相互評価、ゲスト・ティーチャーへの御礼文）
- グループでの話合いや発表活動を通して価値に迫る意見交換ができている。
 （役割演技の観察、発表活動の観察、ワークシートの内容、学習プリントの自己評価・相互評価）

